

南部

老人福祉
ふれあいタウン

シルバーエリア

祝
南部老人福祉総合エリアオープン

秋田県・大森町

横手平鹿広域市町村圏



第1号

秋田県南部老人福祉総合エリア 開通3年7月19日



秋田県知事

佐々木 喜久治

かねて平鹿郡大森町に建設を進めておりました南部老人福祉総合エリア（南部シルバーエリア）がこのほど一部完成、七月一日から施設を開所いたしております。まことに喜びにたえません。

この「エリア」は、高齢化社会の進行に伴って、福祉、保健、医療、雇用、生きがいなどの面で、多様化するニーズに対応するため、県が中心となり、横手平鹿広域市町村圏組合や大森町とともに建設してきたもので、「老人福祉施設」「医療施設」「地域住民や世代間の交流施設」「生きがいのための施設」などからなり、将来、総合的・複合的な機能を持つモデル施設として、県南部における在宅サービスの拠点になるものであります。

このたびオープンした主な施設は、「在宅老人介護センター（シルバーケアセンター）」「診療・リハビリセンター」「コミュニケーションセンター」などであります。

「シルバー・ケア・センター」では、在宅の虚弱なお年寄りの方々をバスで送迎し、入浴、給食、動作訓練、健康チェックなどのサービスを行

い、あわせて家族の介護負担の軽減を図ることになっております。

また、「診療・リハビリセンター」では、内科医や歯科医による検診や治療を行うとともに、専門スタッフによる日常的な機能訓練や健康相談にも応じます。

「コミュニケーションセンター」では、サウナやラジウム温泉浴、気泡浴、うたせ湯などを備えた浴場のほか休憩娯楽室などが設けられており、お年寄りや地域住民の憩いと交流を図ることができま

す。今後はこのほかに、生きがい施設や温水プール、屋内スポーツ施設などを順次計画的に整備することにしております。

このエリアは、地域に開かれた身近な施設として、盆踊り大会や文化祭、スポーツ大会などの行事も計画しております。また、皆様のご希望に応じて、映画会や健康講座、生きがい講座などを随時開催しますので、お年寄りはもちろん、若い人々も誰でも気軽にご利用下さるようお願いいたします。



秋田県社会福祉事業団

理事長 村山 四喜男

「二十一世紀の長寿社会を展望し、心身共に健やかで、楽しく、充実した人生を送ることが出来るように」とのスローガンの下に、県南の平鹿郡大森町で、総合的な老人福祉対策の一環として建設していた「秋田県南部老人福祉総合エリア」がいよいよオープンすることになりました。

このエリアは、要援護老人に対する福祉サービスにとどまらず、老人の自主的な社会参加や各世代間の活発な交流が図られ、更に、医療面とのタイアップにより、様々なニーズに対するきめ細かいサービスを展開してゆくという、新たな視点に立った総合的・複合的な機能をもった施設であります。

「多くの経験と豊かな知識を持つ人生のベテランである老人が、人間的なふれあいを通して社会に還元し、かつ、自らもその活動に参加して心豊かな毎日を過ごすことが出来る」というのが、高齢者社会と称される現代に求められる老人の姿ではないかと思われま

す。その意味では、このエリアが本県の老人福祉の拠点になるうかと思えますし、県民の多くの方々のご利用

により、エリアの機能も多面的に発揮されることと思います。

現在、当事業団で経営しているところは、県立等の福祉施設八ヶ所、職員数も三四〇名、障害児者の入所定員も八一〇名となっております。そしてこの度の南部シルバーエリアの受託も加わり、その規模も更に大きくなり、本県の福祉の向上に大きく寄与できるものと自負している次第であり、同時に県民の期待に応える責任もまた大きいものと存じております。

今後の社会情勢の変化と同時に、福祉に対するニーズも更に多様化して参りますので、役職員一同研修につとめ、人間味ゆたかな対応を心掛けたいと思っております。他の施設同様、この「南部シルバーエリア」も地域に親しまれ、開かれた施設にするため努力をいたします。

今後共、心あたたまるご指導を賜わりますようお願い申し上げ、ごあいさついたします。





秋田県老人クラブ連合会

会長 寺田 忠 夫

秋田県がかねて進めてきた、老人福祉総合エリアの中核となるコミュニティセンターが完成され、七月から一般に利用される運びとなりました。県当局の御努力と、地元大森町の町を挙げての御協力に依るものと、深甚の敬意を表すると共に開所を心からお喜び申しあげるものであります。

エリアの建設に至る背景、意義に就いては、建設基本計画の中で次の様に述べられています。

高齢者の人口が激増するに連れて家庭介護や医療を必要とする老人が増加する一方、中には痴呆性老人のための新たな社会問題も生れていきます。又社会構造の変化、生活様式の変革、核家族化や女性の就労の増大等により、家族による扶養や介護機能が低下し、近隣社会の絆の稀薄、地域相互扶助関係も期待薄になっている現状です。

これに対応するため考えられ、更には老人の望む在宅福祉の充実に計り、高齢者が住民と接して充実した人生を終える様にサービス提供する施設である。

私は老人福祉の受け手から担い手

として、地域に於て自主的組織活動を実践し、地域に根づいてきた県老人クラブ連合会を預る立場から、エリアの開所を喜ぶと共に、エリア発展のため二、三申し上げたいと思います。

一、エリアの機能が充分発揮されるには、地域・民間協力が大切な条件の一つと思います。

二、高齢者福祉に関係を持つ団体・個人は、立場立場で役割りを明確にしながら連携を密にすることも大切な一つと思います。

三、エリアで企画する事業に対し、地域や関係団体の理解を深め、その希望や意見を反映することも大切なことと思います。

四、エリアと既存の老人福祉施設とが補完しあい、各市町村が取り組む高齢者福祉対策等への波及効果は大きく、最終的に、地域全体が「命輝く長寿社会」を謳歌できる社会実現の期待と夢をエリアに持つものであります。



大森町

秋田県が、人生八十年時代に対応する福祉施設として、昭和五十五年以来検討を重ねてきた、福祉と医療の複合的機能を持つ「秋田県南部老人福祉総合エリア」が、七月一日開所されましたことは、まことに慶祝に堪えずつつしんでお喜び申し上げます。

老人福祉対策は、昭和三十八年の老人福祉法の制定により、その緒についたが、その後、社会経済環境も大きく変化し、老人福祉への多様で切実なニーズが生まれてきている。今後一層急テンポで高齢化が進み、避けることの出来ない事実として受けとめ、できる限りの老人福祉の向上に注いでまいっているときに、風光明媚な出羽丘陵の一角に、すばらしい施設が建設されましたことに對し重ねて深く謝意を表するものであります。

エリアは、高齢者が地域から隔離されることなく、近隣住民と接しながら豊富な知識や経験を還元するとともに、医療面も保障され生きがいと安らぎのある生活がおくれるように、新しい時代に対応したこれからの福祉社会にふさわしい福祉・医療

町長 阿部 勝 行

サービスを提供する施設をはじめ、地域の人々の生きがいや、交流施設を体系的に整備されたものであり、お年よりの願いがここに実現できましたことは何より意義のあることでございます。せっかく生まれましたこのエリアが、今後これに従事される職員各位のご努力と、入所、利用者の積極的なご協力により「お年よりの楽園」として機能を十分果せることを信じて疑いません。

当町といたしましてもこの一角に幼稚園の建設や、生きがい創作館、生きがい交流広場を整備するなど、精いっぱいのご協力をしてまいりたい所存であります。ここに当施設誕生を心からお喜び申し上げますとともに、関係者皆様方のご多幸、ご発展をお祈り申し上げます。





秋田県南部老人福祉総合エリア

管理者 藤原 忠

南部シルバーエリアは出羽丘陵の美しい山々を背景に、静寂で絶景の環境に恵まれた大森町菅生田に建設されました。

遠く奥羽山脈や横手盆地の眺望はまさに風光明媚の一語につきまします。県南の山々に映える、格調高いこの総合福祉施設は「活力とうるおいに満ちた長寿社会秋田」を目ざし、県が高齢化社会に対応する積極的な施策として設置した画期的なものです。

健康で心豊かな生活のできる福祉社会こそ、全ての人々の願いであり県政の最大の目標であります。とりわけ高齢化社会の進む中で、老人の方々の殿堂ともいえるこの福祉エリアが完成いたしますと、その期待を担うものとして大きな意義があります。

福祉エリアでは、今後中核施設のコミュニティセンターを中心に、各種の社会参加事業を行なうことになつており、特に老人のための生きがい活動や健康づくりにも大きな役割を果たせるものと考えております。県内各地からのご利用を心からお願い申し上げます。

コミュニティセンター・シルバー

ケアセンター・診療リハビリセンター・生きがい農園等、七月一日のオープンに伴ない、一日から三日間、全館無料開放を致しましたところ二千八百近い人々が視察に見えられ、さい先よいスタートを切らせていただきました。

またシルバーケアセンターを開所するため、六月中に日中介護を希望する方々を募りましたところ、四十名程の申込がありました。

一日以来毎日二十五名程の方々がケアを受け日々を楽しく過しています。

今後エリアは社会参加・福祉・医療・居住等総合的・複合的機能をもった施設の役割を充分認識し、老人の方々は勿論、各層の方々に愛される施設として、職員一同その期待に応えるよう精いっぱい努力をする所存ですので、なにとぞよろしくご指導お願い申し上げます。



祝

秋田県南部老人福祉総合エリア
開設おめでとう!!

大曲仙北広域市町村圏組合

管理者 高橋 司



横手平鹿広域市町村圏組合

理事会代表理事

横手市長 千田謙蔵



湯沢雄勝広域市町村圏組合

理事会代表理事

湯沢市長 高畑 進



「エリア」開所式及び記念行事

七月一日、エリアコミュニティセンター前において開所式が行われ、多彩な記念行事が催されました。

今回オープンしたのは、コミュニティセンター・診療リハビリセンター・サブライエネルギーセンター・在宅老人介護センター・生きがい農園・屋外運動広場の六施設。

午前九時から行われた開所式には関係者約三百人が出席、初めに成田県福祉保健部長・阿部大森町長・千田横手市長・村山県社会福祉事業団理事長・今野

大森町老人クラブ連合会長によるテープカットが行われ、その後、大森町内の園児たちが風船二百個を大空高く飛ばし、オープンを祝いました。

つづいて、川西幼児教育センター園児による「ひまわり太鼓」白山幼児教育センター園児によるマーチング演奏なども披露され、オープンに花を添えました。

エリアでは、オープンを記念し、コミュニティセンター（休憩娛樂室、浴場、研修室など）、テニスコート、ゲートボール場を一般に無料開放したほか、オ

ーブン記念ゲートボール大会や映画会を行いました。

また、こけし・杉工芸品・漆器・わら工芸などの県南部の有名な民芸品や、横手市平鹿郡老人クラブ会員の作品などの展示を行い、多くの方々に楽しんでいただきました。



毎度ありがとうございます



レ・スト・ラ・ン
えんどう
(26-3838)



おみやげも
ぜひどうぞ!!

売店
エリア
(26-3861)

エリア内有名店

(ご案内)

貴男のコンサルタント

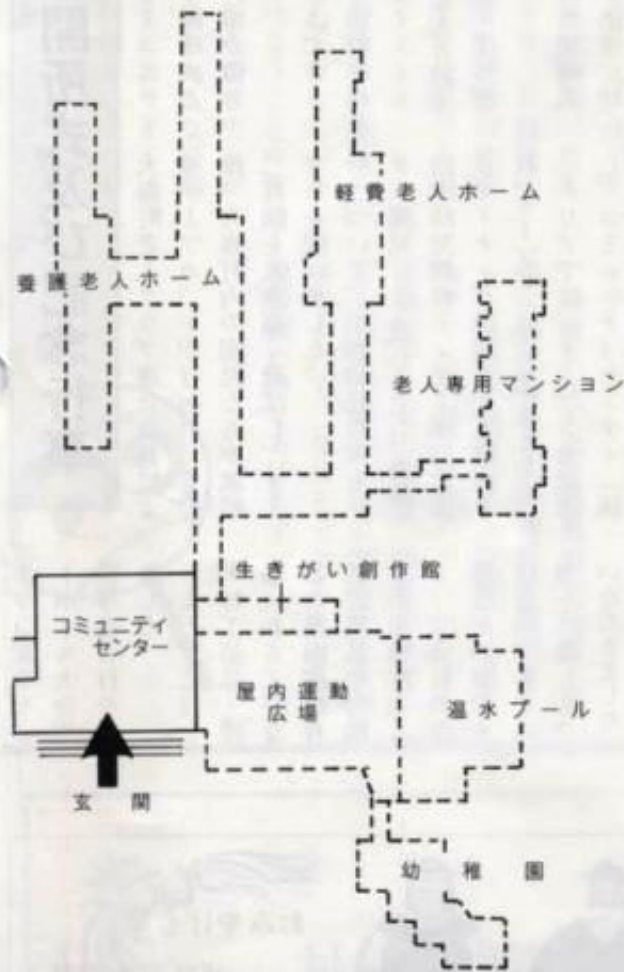
理容 さくら

(26-3870)

美追求

美容 ケーアイ (26-3600)

福祉総合エリア



秋田県南部老人福祉総合エリアは、福祉施設やサービスの需要が一層増大し多様化していく状況のもとで、「活力とうるおいに満ちた長寿社会秋田」を目標に、お年寄りの方々の福祉・医療・居住・社会参加等の機能をあわせ持つ、総合的な福祉サービスを提供する施設として、秋田県が大森町に設置したものです。

七月一日からのオープンは、コミュニティセンター・診療リハビリセンター・シルバーケアセンター（在宅老人介護センター）の三施設であります。昭和六十六年二月までには、すべての施設が完成する予定で、鉄骨・鉄筋コンクリート造、平屋（一部二・三階）建、敷地面積一五三、〇〇〇㎡、建築面積一五、九四一㎡となります。



ロビー



受付



リハビリセンター



研修室

秋田県南部老人

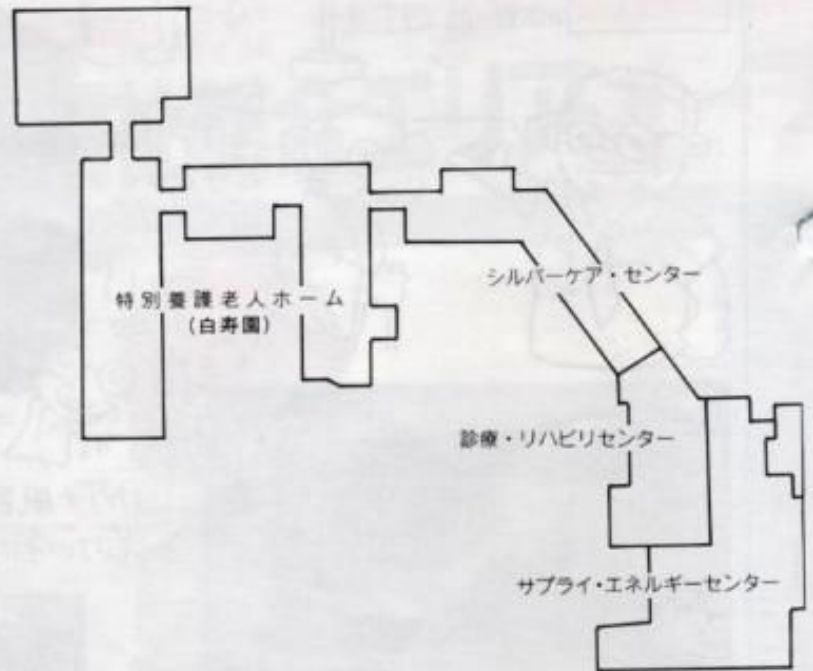
施設一覧表

(既設施設)

- コミュニティセンター
- シルバーケア・センター
- 診療・リハビリセンター
- サブライ・エネルギーセンター
- 生きがい農園
- 特別養護老人ホーム
- 屋内運動広場

(開設予定施設)

- 生きがい創作館 (昭和64年1月)
- 養護老人ホーム (昭和64年1月)
- 温水プール (昭和64年12月)
- 幼稚園 (昭和65年4月)
- 軽費老人ホーム (昭和66年2月)
- 老人専用マンション (昭和66年2月)



〈施設設備と利用時間・利用料のご案内〉

○利用時間

施設	設備		利用時間
	施設利用料	利用の単位	
コミュニティセンター	研修室	一人一泊につき	午後四時から翌日の午前十時まで
	会議室	一人一泊につき	午前九時から午後五時まで (月曜休館)
在宅老人介護センター	視聴覚室	一人一泊につき	午前九時から午後五時まで
	診療・リハビリセンター	一人一泊につき	午前九時から午後五時まで (土曜日は午前九時から正午まで・日曜・祝日休み)
テニスコート	テニスコート	一人一泊につき	四月一日から十月三十一日まで 午前九時から午後五時まで 十一月一日から同月三十日まで 午前九時から午後四時まで
	屋外ゲートボールコート	一人一泊につき	
宿泊	小学校児童	一人一泊につき	一、〇〇〇円
	小学校児童	一人一泊につき	二、五〇〇円
休憩	小学校児童	一人一泊につき	二、五〇〇円
	小学校児童	一人一泊につき	五、〇〇〇円
会	小学校児童	一人一泊につき	一、二五〇円
	小学校児童	一人一泊につき	一、五〇〇円
研	小学校児童	一人一泊につき	一、〇〇〇円
	小学校児童	一人一泊につき	一、〇〇〇円
視聴	小学校児童	一人一泊につき	一、〇〇〇円
	小学校児童	一人一泊につき	一、〇〇〇円
区	小学校児童	一人一泊につき	一、〇〇〇円
	小学校児童	一人一泊につき	一、〇〇〇円
一六ミリ用映写機	一六ミリ用映写機	一人一泊につき	二、三〇〇円
	一六ミリ用映写機	一人一泊につき	五、〇〇〇円
スライド用映写機	スライド用映写機	一人一泊につき	五、〇〇〇円
	スライド用映写機	一人一泊につき	五、〇〇〇円
ビデオテープレコーダー	ビデオテープレコーダー	一人一泊につき	五、〇〇〇円
	ビデオテープレコーダー	一人一泊につき	五、〇〇〇円
テニスコート	テニスコート	一人一泊につき	三、〇〇〇円
	テニスコート	一人一泊につき	三、〇〇〇円

JR 横手駅

大森線 菅生田 下車

JR 大曲駅

大森線-菅生田 下車

川面線-西野 下車

バス停

5~10分

おばあちゃん 楽しい エリア 日記

エリアさはどうやって 行くんだべ

〈浴場〉
ラドン温泉はほんとに
= 気もちえへな
神経病も良くなるナ
から風呂もあって
若げや者にもえな
うたせ湯
もえな

〈視聴覚室〉
日曜日と
水曜日は
なつかしい
映画やって
るんだナ

〈休憩 娯楽室〉
あやうきも
えがった
あしたも
来るがー
(つづく)

若い人はテニスも
3人たって！
昔思い出すナ

ペトボールで
足腰も丈夫に
なつて、友だちも
増えだナ

昭和63年7月19日発行 秋田県平鹿郡大森町字菅生田二四五一三四
山県南部老人福祉総合エリア・TEL (0182) 26-3800